

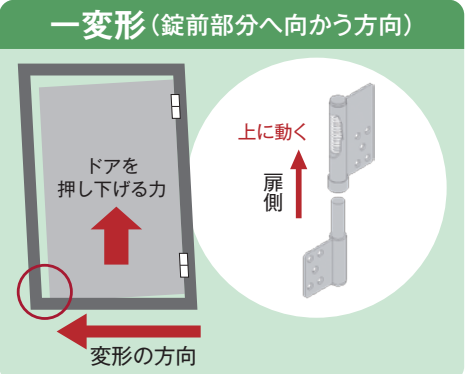
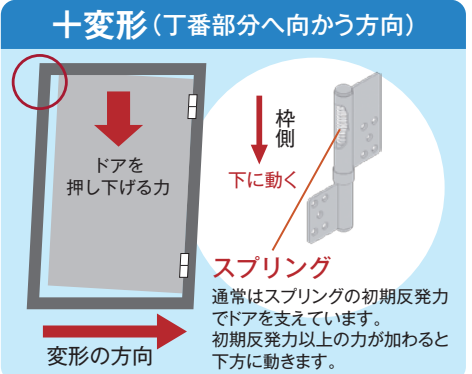
皆様と株式会社アクロスをつなぐコミュニケーションマガジン「ACROSS LETTER 第11号」をお届けします。台風21号および北海道胆振東部地震で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。豪雨、台風、地震と天災が続け様に日本に襲いかかっています。マンションにおいても被害が出ていますので、今号は、防災に関連する内容を書かせていただきました。次号は冬(1月)の予定です。

最近の大規模修繕工事事情

玄関扉の改修について

2018年6月18日、午前7時58分頃、大阪府北部(北緯34.8度、東経135.6度)を震源とするマグニチュード6.1、最大震度6弱の地震が発生しました。今回の地震では、玄関扉のドアが変形したという事案も確認しております。そこで、弊社が提案させて頂くのは、玄関扉の改修です。

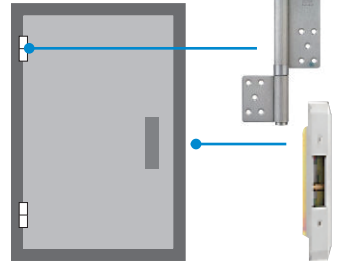
■地震でドアが開かなくなるのはなぜ？



枠が+変形するとドアの上端が枠に当たります。その結果、ドアと枠が固くせりあい、ドアを開けるために非常に大きな力が必要になります。

枠が-変形すると、ドアの下端が枠に当たります。しかし丁番の構造上、上方向にずれることで圧力が小さくなり、+変形ほどのドアの固着は発生しにくくなります。

■改修のご提案



- **耐震丁番**
 枠とドアの通常より広く取り、地震時でも変形によって扉が閉ざされにくい形状です
- **耐震錠受**
 地震時、ラッチおよびデッドボルトはあらゆる方向に動き、側圧がかかった状態で止まります。耐震錠受板は、外圧がかかるとステンレスカバーがつぶれて、ラッチおよびデッドボルトへの側圧を和らげますので、通常力で解錠できます。

- **プッシュプルハンドル**
 高齢者にも優しい操作性のプッシュプルハンドルです。また、内側には防犯サムターンで防犯性が向上します
- **ディンプルシリンダー**
 ディンプルキーとは、ピンが複雑方向から刺さっていて、鍵の表面にデコボコしたくぼみのある鍵。ピンシリンダーなどより格段にピッキングに強い構造。このような鍵は防犯鍵と呼ばれ、防犯性に優れているのが特徴です。鍵の交換を行う際は、こちらの種類を検討すると良いでしょう。



台風や暴風雨への備え心得

予想を越える風や雨に襲われることの多い昨今、安全を確保したり、最小限の被害を抑えるためにどんなことをすればよいのでしょうか。



■台風が来る前には

- バルコニーに置いてある**植木鉢や椅子、テーブル**など、飛ばされやすいものは、あらかじめ室内に入れておきましょう。
- **網戸がはずれないかどうか**を確認しておきましょう。簡単にはずれそうな場合はあらかじめはずして室内に入れておきましょう。
- **バルコニーの排水溝は清掃**しておくようにしましょう。排水溝にごみや落ち葉がたまっていたりすると、水があふれて室内に浸水したり、バルコニーからあふれ出たりすることがあります。



■台風が来たら

- **ブラインドやカーテンは閉めておきましょう。**
 風にあおられて物が飛んでくることがあり、ガラスが割れたりしたときの飛散防止のためです。
- **窓の近くから離れましょう。**
- **窓やドアの開閉はできるだけ控えましょう。**
 開閉が必要なときは手を挟まないように気をつけましょう。



くれぐれも備えあれば憂いなし。用心に越したことはありません。

台風の後には様々な問い合わせが相次ぎました。「屋上の防水材が飛ばされた」「バルコニーの隔て板が吹き飛ばされた」「ガラス庇が割れた」「アルミ手すりがかくにやりと曲がった」などなど。いま改修工事に注力しております。どうぞ皆様、備えあれば憂いなしです。補強工事をご検討ください。
 ACROSS LETTER発行人 下門・石川・横井 info@across21c.co.jp

